

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		景観まちづくりの普及・啓発				整理番号	522		枝番号			
担当部課		都市整備部まちづくり推進課		コード	220303		連絡先電話番号	3363		昨年度整理番号	534	
係名 景観係				上位施策名				No				
予算事業名 景観まちづくり				コード	52300		まちの景観づくり				14	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 元 年度				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業							
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区民、事業者、公共団体				(1) 杉並区まちづくり基本方針 (2) 杉並「まち」デザイン賞要綱 (3) 景観法							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 1. 自然と歴史的環境に調和した、杉並らしいまちなみの形成に寄与している建物や地域活動などを表彰する。 2. 杉並のまちの多様な美しさや豊かさなどの景観の魅力や課題について多面的に取り上げる景観新聞を年1回発行する。 3. 景観ガイドラインを作成する。				事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） 区民や事業者、公共団体の景観への関心と意識を高めるとともに、景観づくりの理解を深め、まちなみの景観向上を図る。							
	活動指標名(式) (1) 景観新聞の発行 (2) 杉並「まち」デザイン賞ポスター、チラシ作成				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 生活環境評価点(街なみの美しさや落ち着き) (2) (代)応募件数							
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%			
					計画	実績						
指標	活動指標(1)		部	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000				
	活動指標(2)		枚	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000				
	成果指標(1)		評価点	2.74	2.26		2.29					
	成果指標(2)		件	61	61		5					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	615	1,458	1,348	1,198	6,855	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 生活環境評価点(街なみの美しさや落ち着き)杉並区区民意向調査によるもので、高い評価を得ている。1.00に近いほど評価が良い。ちなみに、15年度から4段階評価になったので、前年度とは単純に比較できない。			
	(内)委託費		千円					5,000				
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.96	1.32	1.50	1.40	1.40				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	8,720	11,872	13,650	12,740	12,740				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	9,335	13,330	14,998	13,938	19,595				
	単位あたりコスト ÷		円	622	889	1,000	929	1,306				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0	
差引:一般財源 -		千円	9,335	13,330	14,998	13,938	19,595					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
16年度予算執行状況(節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の16年度達成率%	100.0	活動指標(2)の16年度達成率%	100.0	16年度予算執行率%	88.9				
前年度の改革案の取り組み状況(17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			杉並区まちづくり基本方針で位置づけられている「景観ガイドライン」を平成17年度に策定するが、他自治体の策定状況・内容等を調査し、杉並区独自の景観ガイドラインの内容・考え方・進め方等を検討した。									

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	区民意向調査による生活環境評価点(街なみの美しさや落ち着き)は、項目として取り入れられた平成8年からほとんど変化がなく、16年度は前年度よりわずかに減少した。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	開発などで失われる緑地や、取り壊される古い建物、伐採される樹木の保全など、失われていく街なみや風景に関する要望がある。
	今後の予測	昨年度、景観法が施行され、景観の意義やその整備・保全の必要性が国政の重要課題として位置づけられ、地方公共団体のこれまでの取組みをバックアップする制度ができた。今後、杉並らしい魅力あるまちなみを形成するために、区独自の景観施策を構築していく。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: まちの景観づくりは行政だけでできるものではなく、区民・事業者と共に取り組んでいくものである。まちなみの景観形成が、人々の生活に潤いを与える大きな要素であることを理解してもらうために、景観まちづくりの普及・啓発は必要不可欠である。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由: 今後、景観ガイドラインの策定や景観条例、景観計画の策定などが控えているため、現在の事業費では対応できない。 具体的内容: 景観法の制定を受け、これまでの景観施策の成果・課題などを整理・評価するとともに、新たな景観施策の枠組みを構築する。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由: 地域に密着した景観まちづくりの情報発信は区の責務である。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由: 新聞やポスターの作成は、区民等の参加・協力により、手作りで行っているため、印刷費の経費など必要最小限に抑えている。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している(^) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)	理由: 具体的内容: 杉並の面影を伝える建物についての、調査・啓発活動などについては、同様の目的をもつ任意団体と協力しながら進めている。
	(6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容)	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み: 歴史的建物保存について活動する団体に、杉並の面影を伝える建物の調査・ヒアリングなどを委託する。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 杉並らしい魅力あるまちなみを形成するために、以下の事業を進める。 景観ガイドラインは、平成17年度に策定する。 杉並の面影を伝える建物保存の枠組みを確立し、平成17年度からモデル事業を試行する。 景観計画、景観条例は、平成20年度までに策定する。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 景観形成は、区民の協力なくしては成しえない。そのため、景観に対する区民の意識を向上させる普及・啓発を地道に続けながら、着実に計画を進める。
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 景観ガイドライン策定の費用が減となるが、景観ガイドラインの区民向けパンフレットの作成や杉並の面影を伝える建物保存のモデル事業試行による増があるため、全体としては増減はない。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		大田黒公園周辺地区景観まちづくり				整理番号	523		枝番号						
担当部課名		都市整備部まちづくり推進課		コード	220303		連絡先電話番号	3363		昨年度整理番号	535				
係名				景観係				上位施策名		No					
予算事業名				景観まちづくり				コード		52300		まちの景観づくり		14	
事務事業の概要	事業開始年度				○ 昭和 ● 平成		2 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等								
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 都市計画法								
	地区計画区域内の住民、事業者、権利者						(2) 杉並区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例								
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				大田黒公園に地区計画を定め、国・都の補助事業を活用した大田黒公園周辺地区まちづくり計画に合わせた、公共施設の整備を行う。また、景観に配慮した建築物の外構工事費の一部を助成する。その他、まちづくりへの理解へと協力を得るためのイベントやパネル展示を行い、まちづくりニュースを発行する。地区計画の相談・届出を行っている。		(3) 杉並区街なみ環境整備助成要綱								
活動指標名(式)				(1) まちづくりニュースの発行		(2) 街なみ環境整備助成件数		事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか）							
成果指標名(式)				(代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 住環境向上面積 = 地区計画指導面積 = 地区計画届出面積									
								(2) 生活環境向上面積 = 街なみ環境整備面積							
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%						
					計画	実績									
指標	活動指標(1)		部	6,000	6,000	5,500	6,000	6,000							
	活動指標(2)		件数	3	1	14	0	14							
	成果指標(1)		m ²	4,812	6,712		5,182								
	成果指標(2)		m ²	14	184		0	1,788							
総事業費・コスト把握	事業費		千円	3,165	6,376	2,610	366	2,620	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 事業費には、まちづくりニュースの発行、まちづくりイベントの費用を含む。16年度実績の内訳 整備 1件 助成 0件 街なみ環境整備補助率 国(1/2) 都(1/4) 区(1/4) 街なみ環境助成補助率 国(1/3) 都(1/6) 区(1/6) 他(1/3)						
	(内)委託費		千円	1,995	5,723	140	140	140							
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.92	1.10	1.00	1.00	1.00							
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	17,439	9,893	9,100	9,100	9,100							
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0							
	総事業費 ++		千円	20,604	16,269	11,710	9,466	11,720							
	単位あたりコスト ÷		円	3,434	2,712	2,129	1,578	1,953							
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都等からの支出金		千円	1,687	3,675	3,375	1,614			1,650				
		特定財源計 +		千円	1,687	3,675	3,375	1,614			1,650				
差引:一般財源 -		千円	18,917	12,594	8,335	7,852	10,070								
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								
16年度予算執行状況(節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	109.1	活動指標(2)の16年度達成率%	0.0	16年度予算執行率%	14.0	平成16年度の街なみ環境整備助成は0件のため。							
前年度の改革案の取り組み状況(17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		平成17年度は「景観ガイドライン」を策定する。平成16年度より街なみ環境整備の(仮称)読書の森公園整備については、別途単独で評価表を作成している。													

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	まちづくりニュースの発行・まちづくりイベントを通じて、地域のまちづくりに対する理解が深まり、景観に配慮した建物やみどりも少しずつ増えているとの声がある。また、地区施設(公園・遊歩道等)の充実に関する要望もある。
	今後の予測	街なみ環境整備事業は平成18年度に終了する。しかし、景観法の成立により、この地区のさらなる景観形成を図るため、事業の延長を検討する必要がある。今後も継続的に景観誘導を図るとともに、地区住民の自主的なまちづくり意識の高揚を進める。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 大田黒公園周辺地区のまちづくりは、景観まちづくりのモデル事業として地域住民と先進的に取り組んできた。公共施設の整備だけでなく、民間建物に助成することでまちづくりが進んでいる。 理由または具体的内容: 具体的内容: 地区計画の届出・指導や街なみ環境整備事業により、歴史や文化のかけり、豊かなみどりを活かしたまちへと誘導できる。また、イベント・まちづくりニュースの発行などを継続することにより、地域の人々にまちづくりへの理解を深めていくことができる。 景観法を活用することで、よりレベルアップした景観形成が可能となるため、今後その方策を調査・検討する。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由: この事業は行政が主導で実施するものである。街なみ環境整備助成は、1/3は受益者負担である。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [事業の統廃合] (具体的内容)	具体的内容: 街なみ環境整備事業は平成18年度に終了し、その後も延長を検討中である。しかし、継続する場合でも、助成については件数も少なく、公園緑地課の接道部緑化助成と重複する部分があるため見直す必要がある。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している(^) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	理由: 街なみ環境整備事業の整備・助成は、国・都の補助事業である。整備については、区の発注で企業が工事を請う。助成については、個人事業者が自ら整備を行う。
	(6) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	<div style="text-align: center;"> <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 </div> 今後の具体的な取り組み: 角川邸の寄付を受けたことにもない、建物の耐震工事、改修工事をする可能性がでてきた。今後の活用をにらみ、街なみ環境整備事業の延伸手続きを行い、補助金を活用するとともに、企業に設計・工事などを委託する。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 大田黒公園周辺地区らしい魅力あるまちなみの形成を、今以上に推進するために、景観計画・景観条例を平成20年度までに策定する。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 景観形成は、区民の協力なくしては成しえない。そのため、景観に対する区民意識を向上させる啓発活動を地道に続ける。
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 新たな景観施策における、大田黒公園周辺地区の位置づけを調査・検討する。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		中杉通り沿道周辺地区景観まちづくり				整理番号	524		枝番号		
担当部課名		都市整備部まちづくり推進課		コード	220303	連絡先電話番号	3363		昨年度整理番号	536	
係名 景観係					上位施策名					No	
予算事業名 景観まちづくり					コード	52300		まちの景観づくり			14
事務事業の概要	事業開始年度 ○ 昭和 ● 平成 3 年度				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 中杉沿道周辺地区住民、事業者、公共団体				(1) 杉並区まちづくり基本方針 (2) 中杉通り沿道周辺地区景観まちづくり構想 (3)						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 1. まちづくり構想に基づくまちづくり事業の推進。景観ガイドラインによるまちなみの誘導。 2. 地区内で行われる建替計画等について、公共団体、事業者などと調整や指導・誘導を行う。 3. まちづくりシンポジウムの開催、まちづくりニュースの発行等により普及・啓発に努める。				事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） 中杉通りを中心に阿佐谷のまちを住民等との協働により个性的で魅力あるまちなみにする。そのために、住民、事業者、行政がそれぞれの立場から、積極的にまちづくりに取り組む風土を育てる。						
	活動指標名(式) (1) まちづくりに関する協議回数 (2) まちづくりニュースの発行				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 生活環境評価点(まちなみの美しさや落ち着き) 区平均生活環境評価点 - 阿佐ヶ谷地域生活環境評価点(代)地域別住みよさ(地域別) (2) 区平均住みよさ割合 - 阿佐ヶ谷地域住みよさ割合						
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		回	33	35	30	28	30	30	93.3	
	活動指標(2)		部数	5,000	6,000	12,000	6,000	6,000	6,000	100.0	
	成果指標(1)		評価店	0.17	0.28	0.30	0.11	0.30	0.30	36.7	
	成果指標(2)		%	1.50	2.60	-2.00	-0.30	-2.00	-2.00	15.0	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	444	381	803	449	800	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 生活環境評価点「街なみの美しさや落ち着き」「街のすみよさ」は杉並区区民意向調査によるもので、高い評価を得ている。 成果指標(1)(2)から、街なみの美しさや落ち着き、街のすみよさはいづれも区の平均値より上回っていることを示している。 事業費にはシンポジウム等に係る印刷費、需要費を含む。		
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.75 0.00	0.60 0.00	0.50 0.00	0.50 0.15	0.50 0.00			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	6,812	5,396	4,550	4,550	4,550			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	432	0			
	総事業費 ++		千円	7,256	5,777	5,353	5,431	5,350			
	単位あたりコスト ÷		円	219,879	165,057	178,433	193,964	178,333			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0			0
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0			0
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	7,256	5,777	5,353	5,431	5,350				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
16年度予算執行状況(節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の16年度達成率%	93.3	活動指標(2)の16年度達成率%	50.0	16年度予算執行率%	55.9	まちづくりニュースの発行部数減等による。		
前年度の改革案の取り組み状況(17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			シンポジウム「櫻を語る」を開催した。中杉通りにおける、今後の新たな普及・啓発活動の取組みを模索している。								

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	地域住民から提言を受けたまちづくり構想に基づき、中杉通りを中心としたまちづくりを進めている。具体的には公園整備、駅前公衆トイレの改修、中杉通りの歩道のカラー舗装、ケヤキの剪定、JR阿佐ヶ谷駅の改修工事などに地域住民の意見を反映させるため、ワークショップの開催や他機関等との調整を行いながらまちづくりを進めてきた。また、景観ガイドラインを検討するワークショップの開催、シンポジウムの開催、ニュースの発行を行っている。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	まちづくりに関する要望は区の事業に限らず、都やJR、マンション計画などの民間事業についても多くの区民からの要望が区に寄せられている。
	今後の予測	景観法が施行され、17年度には景観ガイドラインを策定する。また、平成20年度までには、景観計画を策定し、中杉通り沿道周辺地区を景観形成重点地区として、さらなる区民、事業者参画のまちづくりを推進する。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由) <input type="button" value="▼"/>	理由：シンポジウムやまちづくり展示によって、モデル地区のまちづくりを認識する効果は大きい。まちづくりニュースの発行はこの地区のまちづくり情報の唯一の手段である。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() <input type="button" value="▼"/> 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容) <input type="button" value="▼"/>	理由または具体的内容： 具体的内容：「中杉通り沿道周辺地区景観まちづくり構想」及び「松山通り景観ガイドライン」を活用し、景観に関する普及・啓発に努める。民間の建替え計画に構想やガイドラインを反映させることにより景観に配慮された街なみづくりを推進する。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由) <input type="button" value="▼"/>	理由：地区内の建替え計画についてガイドライン等による景観誘導を区民、事業者に行い、区は費用の負担はほとんどない。また、景観まちづくりの理解を深めるためのシンポジウム・パネル展示も区の負担
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容) <input type="button" value="▼"/>	具体的内容：今後、より一層住民の参加や団体の自主性を高めることで、職員の負担の軽減を図ることはある程度可能である。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している(^) <input type="button" value="▼"/> 協働等の相手 企業・個人事業者(^) <input type="button" value="▼"/> 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容) <input type="button" value="▼"/>	理由： 具体的内容：この地区にある企業と景観まちづくり事業を協働で行ったり、まちづくりニュースの配布などを行ってもらっている。今後は、企業や個人事業者などだけでなく、市民活動団体なども情報提供、交換を積極的に行い、景観まちづくりに対する啓発に努める。
	(6) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) <input type="button" value="▼"/> 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容) <input type="button" value="▼"/>	<div style="text-align: center;"> <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 </div> 具体的内容： 企業・個人事業者に、景観まちづくり構想の主旨を理解・協力を要請し、景観に関する関心を高める。

今後の事業のあり方(中長期)	成果： <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト： <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成20年度を目標に区民・事業者の参画を図り、景観法に定める景観計画を策定し、積極的に景観向上を進めていく。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 まちづくり構想を住民が区に提言してから10年たち、現在と状況が変化してきている。そのため、新たな景観施策を構築し、まちづくりの新たなルールづくりを定め、合意形成していく必要がある。
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 平成18年度は、新たな景観施策の進め方等について調査・検討するため、予算の増減はない。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		(仮称)読書の森公園整備				整理番号	525		枝番号	
担当部課名		都市整備部まちづくり推進課		コード	220303		連絡先電話番号	3363		
係名		景観係		上位施策名				No		
予算事業名		景観まちづくり		コード	52300		昨年度整理番号		14	
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成 15年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類		<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (仮称)読書の森公園		(1) 杉並区まちづくり基本方針 (2) 街なみ環境整備事業制度要綱 (3)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		16年度に基本・実施設計を行い、17年度に整備工事を終了し、供用開始する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 良好な住環境を維持、保全し、みどり豊かな落ち着いた街なみの形成を図るため、公園・道路・水路等の公共施設の景観整備を行う。					
	活動指標名(式)		(1) 街なみ環境整備事業における施設整備箇所数 (2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 公園等面積割合(大田黒公園周辺地区区域内) (2)					
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%	
指標	活動指標(1)		箇所			0	0	1		
	活動指標(2)									
	成果指標(1)		%			2.3	2.3	2.7		
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費		千円			3,864	2,254	60,657	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 職員数は、公園緑地課分を含む。	
	(内)委託費		千円			3,155	2,153	60,060		
	職員数(常勤 非常勤)		人			0.30	0.30	1.30		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	0	0	2,730	2,730	11,830		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++		千円	0	0	6,594	4,984	72,487		
	単位あたりコスト ÷		円					72,487,000		
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都等からの支出金		千円			1,725	1,614		45,045
		特定財源計 +		千円	0	0	1,725	1,614		45,045
差引:一般財源 -		千円	0	0	4,869	3,370	27,442			
受益者負担比率 ÷		%			0.0	0.0	0.0			
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%		活動指標(2)の16年度達成率%		16年度予算執行率%		58.3		
		図書館と当該地の間にある用地の買収交渉に進展がないため、測量費などの経費は執行していない。								
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		17年度予算は、整備工事があるため増額されている。								

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	15年度に地域住民参加のもと、基本計画を定め、16年度に基本・実施設計を行った。	
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	公共施設(公園・遊歩道等)の充実にする要望がある。	
	今後の予測	供用開始後は、図書館の隣地である条件を生かし、図書館との一体的な運用を図る。	
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:大田黒公園周辺地区のまちづくりは、景観まちづくりのモデル事業として地域住民と先導的に取り組んできた。先導的に、公共施設の整備を進めることで、区民への景観に対する意識の向上が期待できる。	
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) 成果向上のための方策 その他(具体的内容)		
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由:この事業は行政主導で実施するものである。	
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由:街なみ環境整備事業の活用により、国・都からの補助を受けている。	
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	理由: 具体的内容:街なみ環境整備事業の施設整備は、区の発注で企業が工事を請う。	
	(6) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄	
協働等のあるべき姿		今後の具体的な取り組み: 施設整備は、企業が行う。	

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 公園整備は、平成17年度に完了するが、図書館と公園の間の民有地の用地買収交渉は、地道に継続する。それに伴い、平成17年度に街なみ環境整備事業の延伸を検討する。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 平成17年5月末現在、所有者の意向に変化はない。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input checked="" type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 17年度をもって当事業は終了し、開園後の維持管理経費については、公園維持管理に含める。	

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		まちかど修景事業				整理番号	526		枝番号				
担当部課		都市整備部まちづくり推進課		コード	220303		連絡先電話番号	3363		昨年度整理番号	537		
係名 景観係				上位施策名				No					
予算事業名 景観まちづくり				コード 52300				まちの景観づくり				14	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 8年度				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業								
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等								
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(1) 杉並区まちづくり基本方針								
	公共施設敷地				(2)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				(3)								
小公園や橋のたもと、道路や角地などまちの小さな空間を修景整備する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)									
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標									
(1) 候補地調査箇所数				(1) 生活環境評価点(街なみの美しさや落ち着き)									
(2) 整備箇所数				(2) まちかど修景整備達成率 整備箇所数 ÷ 整備目標数 × 100									
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%				
					計画	実績							
指標	活動指標(1)		個所	5	5	5	5						
	活動指標(2)		個所	0	1	0	0						
	成果指標(1)		評価点	2.74	2.26		2.29						
	成果指標(2)		%	16.7	25.0	25.0	25.0						
総事業費・コスト把握	事業費		千円	529	4,488	30	30	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 14年度からまちかど修景整備目標値は基本計画の目標値に変更した。(14年度前の整備と合わせて目標12箇所)15年度までの累計実績3箇所。					
	(内)委託費		千円	500	4,459	0	0						
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.40	0.40	0.10	0.02						
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	3,633	3,598	910				182	0	
		非常勤職員分		千円	0	0	0				0	0	
	総事業費 ++		千円	4,162	8,086	940	212				0		
	単位あたりコスト ÷		円	832,400	1,617,200	188,000	42,400						
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0	0	0				0	0	
差引:一般財源 -		千円	4,162	8,086	940	212	0						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0							
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%		100.0	活動指標(2)の16年度達成率%		16年度予算執行率%		100.0				
		平成17年度からの実施計画で、まちかど修景整備事業は廃止となった。											
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)													

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	
	今後の予測	今後は、公共施設等の新設・改修時に「まちかど修景整備」の考え方を取り込んだ形で景観に配慮した整備をする。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 地域の人目の目に付く場所を修景整備することにより、景観まちづくりに対する区民の意識の向上に貢献している。また、一地域での効果が区全体に発展することが期待できる。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [事業の統廃合] (具体的内容)	具体的内容: 実施計画で平成17年度から廃止。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している(^) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[その他] (具体的内容)	理由: 具体的内容: 計画・設計や工事の段階で、住民参加によるワークショップ等を実施している。また、区の発注で企業が整備工事を請負う。
	(6) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	<div style="text-align: center;"> <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 </div> 今後の具体的な取り組み: 公共施設の新設・改修工事は、区が企業に発注する。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 今後は、公共施設等の新設・改修時に「まちかど修景整備」の考え方を取り込んだ形で景観に配慮した整備をするよう誘導する。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 平成17年度に「景観ガイドライン」を策定するが、その中の公共施設の景観に対する配慮事項を、各施設管理者及び設計者に浸透させることが必要である。
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input checked="" type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 平成17年度から事業廃止。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		屋外広告物許可・取締				整理番号	548		枝番号	
担当部課名		都市整備部土木管理課		コード	220701	連絡先電話番号	3402		昨年度整理番号	562
係名		管理係		上位施策名				No		
予算事業名		屋外広告物許可・取締		コード	56100	まちの景観づくり				14
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		50年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 屋外広告物法 (2) 東京都屋外広告物条例 (3) 特別区における東京都の事務処理の特例に関する条例					
	屋外広告物設置者及び管理者									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		区内全域の屋外広告物の許可事務および違反広告物の除去事務		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 屋外広告物の適正な許可を行いまちの美観風致を維持し、公衆に対する危害を防止する。					
活動指標名(式)		(1) 屋外広告物許可申請件数 (2) 違反広告物の除去件数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 屋外広告物許可申請件数前年度比率 (2) 違反広告物の除去件数前年度比率				
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%	
指標	活動指標(1)		件	212	235	266				
	活動指標(2)		件	14,101	13,954	33,777				
	成果指標(1)		%	104	111	113				
	成果指標(2)		%	96	99	242				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	47	53	107		96	107	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)
	(内)委託費		千円							
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.60	0.60	0.60		0.60	0.60	
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	5,450	5,396	5,460		5,460	5,460	
		非常勤職員分	千円	0	0	0		0	0	
	総事業費 ++		千円	5,497	5,449	5,567		5,556	5,567	
	単位あたりコスト ÷		円	25,929	23,187			20,887		
	財源	受益者負担分	千円	6,547	6,955	8,285		10,048	8,613	
		国・都等からの支出金	千円							
		特定財源計 +	千円	6,547	6,955	8,285		10,048	8,613	
差引: 一般財源 -		千円	▲ 1,050	▲ 1,506	▲ 2,718		▲ 4,492	▲ 3,046		
受益者負担比率 ÷		%	119.1	127.6	148.8		180.8	154.7		
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%		活動指標(2)の16年度達成率%		16年度予算執行率%		89.7		
		屋外広告物の許可申請事務は、申請に基づき行っているので目標値はない。違反広告物の除去件数も実績であり、目標値はない。								
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		違反広告物に関しては、維持課及び杉並区内3警察署合同で、毎月の除却作業を強化するとともに、クリーン大作戦及び「杉並区違反広告物除却活動協力員制度実施要綱」に基づき、ボランティア協力員による自主的な除却活動の結果、前年度に比べ飛躍的な成果をあげることができた。また、区からの除却活動の委託を、1団体に対して行い、成果をあげることができた。								

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	屋外広告物の許可申請件数は、過去3年間ほぼ横ばいで推移している。申請のうち新規申請も、過去3年、27件、32件、38件とほぼ横ばいであり、全申請件数に占める割合は僅かで申請の大半が継続許可申請である。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	電柱等に無断で貼り付けてある違法な立看板やはり紙等が、まちの美観を損ねていたり危険であるとの指摘を受けることが多い。また、屋外広告の照明などによる、生活環境への苦情も多い。違反広告物を区民自ら除却したいとの申し出も多い。
	今後の予測	屋外広告物の登録件数は、新規申請の件数と、除却届の件数がほぼ毎年同数であるので、ほぼ横ばいで推移すると思われる。環境や景観への関心の高まりと、「違反広告物除却活動協力員制度」が施行されたことにより、区民のボランティアによる除却が行われるようになったため、今後も除却件数の増加が予想される。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 屋外広告物は都市景観の構成要素として重要であり設置場所、色彩、形状等について適正な規制を行うことにより、地域の環境に調和する広告物を誘導することができるため、良好な生活環境の維持のため。 理由または具体的内容: 申請に基づき許可を行っているため。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 平成16年4月に屋外広告物許可申請手数料の改定を行ったため。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容: 台帳管理及び許可事務のOA化を進める。
協働等の現状	(5) 協働等の実現しているか 一部実現している(^) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[その他] (具体的内容)	理由: 違反広告物の除却について16年度は、違反広告物除却活動協力員制度として広く協力者を募り、地域住民の自主的な除却活動を行い、成果をあげることができた。今後は、さらに地域との協働を推進して 理由または具体的内容:
	(6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[補助・助成] (具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 違反広告物の除却については、15年度は有志3団体の協力を得て、試行的に区民の自主的な除却活動を実施した。16年度に始めた、違反広告物除却活動協力員制度を通じ広く協力者を募り、地域住民の自主的な除却活動を、平成17年度もを行い、協働を行う。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 16年度中に台帳及び許認可事務のOA化を進め、運用を開始したシステムについて、17年度においては、データの整理及びシステムの修正を実施していくことで、いっそうのシステムの充実を図っていく。 違反広告物の除却に関しては、昨年より実施を開始した、違反広告物除却活動協力員制度に基づき、引き続き地域との協働をすすめていく。また、今後策定が予定されている、「杉並区景観条例」との、整合性についても準備を進めていくこととする。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 H18年度も、H16年度から実施を始めた、違反広告物除却活動協力員制度による除却活動を、関係各課、関係団体と協力体制を強化していくことで、いっそうの充実を図る。	

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		電線類地中化整備				整理番号	560		枝番号	2	
担当部課名 都市整備部 建設課		コード	221007		連絡先電話番号	3429		昨年度整理番号			
係名 道路計画担当 係					上位施策名			No			
予算事業名		ふれあい道路の整備		コード	58250		まちの景観づくり		14		
事務事業の概要	事業開始年度 ○昭和 ●平成 16年度				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等						
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(1) 電線共同溝の整備等に関する特別措置法						
	道路利用者(車両・歩行者)・沿道住民				(2) 道路法第16条1項						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) まちの景観の向上と安全で快適な歩行者空間を確保するため、区道の電線類を地中化し、無電柱化を図る。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) まちの景観向上及び震災時に倒壊の恐れのある電柱を撤去し、無電柱化を図ることにより、歩行者が、安心して快適に通行できる歩行空間を確保するとともに、まちのイメージアップを図る。						
	活動指標名(式) (1) 年度毎 電線類地中化整備区道延長 (2) 電線類地中化整備累積延長				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 年度毎の電線類地中化整備率(実施÷実施計画) (2) 電線類地中化整備達成率(累積整備延長÷目標値)						
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
指標	活動指標(1)		m			0	0	330	330	0.0	
	活動指標(2)		m			0	0	330	330	0.0	
	成果指標(1)		%			0	0	100	100	0.0	
	成果指標(2)		%			0	0	100	100	0.0	
総事業費・コスト把握	事業費		千円			15,500	15,093	82,101	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円			15,000	14,700	82,000			
	職員数(常勤 非常勤)		人			0.40	0.40	0.80			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	0	0	3,640	3,640	7,280			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	0	0	19,140	18,733	89,381			
	単位あたりコスト ÷		円					270,852			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	0	0	19,140	18,733	89,381				
受益者負担比率 ÷		%			0.0	0.0	0.0				
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%			活動指標(2)の16年度達成率%			16年度予算執行率%	97.4		
		生活道路無電柱化(道路・電線共同溝)設計及び基本方針策定委託を行った。									
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)											

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成16年4月に「無電中化推進計画」(16年度～20年度)が策定された。この計画では、コスト縮減を図るため、街路事業やバリアフリー事業と電線共同溝等の同時施工に積極的に取り組むとともに、幹線道路の都市計画道路に加え、生活道路においても無電柱化を推進することとして
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	歩行者・自転車・乳母車や車椅子等の通行に支障になったり、災害時に倒壊の危険がある電柱の無電柱化への要望が多い。
	今後の予測	生活道路において、無電柱化の要望は多いが、道路幅員の狭小や歩道が設置されていない等により無電柱化への課題は多い。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 歩行者・自転車・車椅子等の通行に支障になる電柱を撤去し無電柱化することにより、安心して歩けるみちづくりが進む。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 設計にあたり、工法やコスト縮減について検討する。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 事業の性質上、受益者負担は適当ではない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 設計にあたり、工法やコスト縮減について検討改善している。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	理由: 理由または具体的内容: 測量設計・工事の効率性を高めるため、専門の企業に委託する。
	(6) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み: 事業を効率的に執行するために、専門の企業に委託する。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 無電柱化の基本である電線共同溝は、幅2.5m以上の歩道を対象に開発された技術であり、歩車道の分離のない生活道路に適用するには、技術面・コスト面で課題が多い。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 電線共同溝方式による地中化が基本であるが、歩車道の分離のない生活道路においては、地上機器等の設置スペースが確保できないため、地中化による無電柱化が困難である。今後は、無電柱化に対して柔軟に対応するため、地中化以外による無電中化を検討するとともに、電線管理者等の新技術の開発を期待する。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	高齢者・身体障害者等誰もが、安心安全に通行できる歩行空間を確保するとともに、都市景観の向上・都市災害の防止等のため地域住民との調整や電気・通信事業者の意見聴取を行いながら実施計画を進めていく。